



高杉晋作が愛人おうのに贈ったとされる長崎土産の「梅処尼愛用鞆」（下関市立東行記念館蔵）。当時、かなり高級品だった。



話題に事欠かない。そもそも世界を相手に闘う「サムライジャパン」の元祖は、幕末の志士たちだと思っただけだ。

そんな晋作は、芸者上がりの愛人おうのを誰より愛した。晋作亡き後、若くして出家し、生涯晋作の墓を守って暮らした一途なおうのには、晋作は英国製の鞆をプレゼントしている。ビロード地に艶やかな花柄模様、総革張りの裏地、真鍮に銀メッキの口金をあしらった高級バッグは、さしずめ今のルイ・ヴィトンか。同館学芸員の溝口純一さんによると「保管状態が万全でないので鞆を開けることが不可能なんです」とのこと。よほどお気に入りだったのか保管状態のせいか、革の持ち手はボロボロ。残念だなあ。もしかしたら鞆の中に歴史の鍵を握る重大な何かが入っているかもしれないと考えたと、ワクワクするのだけだ。

古城さんは、晋作をこう分析する。

「龍馬同様、晋作にも男としての魅力がある。強い信念と奇想天外な行動は、どこか神秘的で人を魅了する。しっかり者の正妻お雅と、癒し系の愛人おうの、そして最期を看取った母親的存在の野村望東尼と、3人の女性にそれぞれ違うもの

腹がへっては“歴女”はできぬ～ 人気再燃の「晋作餅」

「東行記念館」前の「清風亭」などでは、高杉晋作の生誕120年（1987）忌を記念して作った晋作餅がひそかにブーム。手作りの小



豆あんを赤紫蘇を刻んだ餅でくるみ、鉄板でこんがり焼いたものを、梅酢に漬けた紫蘇の葉でくるむ手のこんだ下関銘菓は、甘辛の加減が絶妙。その上品なお味は、全国を行脚する歴女の皆さんにも大好評。下関市菓として、市内各所でも販売されている。1個95円と心優しきお値段です。

（清風亭＝下関市吉田町1179-1／☎083-284-0884／9時～17時／不定休）

高杉晋作が坂本龍馬に護身用として贈ったといわれるピストル「スミス&ウエッソン第II型（32口径・米国製・六連発）」のレプリカ（下関市立東行記念館蔵）。



高杉晋作は龍馬と熱い心の交流があった。時に「馬より長い」と評される顔にも、個性と野望とが凝縮している。（肖像画提供＝下関市立長府博物館）



幕末のアイドル晋作は
現代のサムライジャパン!?

翌朝は、高杉晋作の墓がある「東行記念館」を訪れた。長州藩士の長男として萩に生まれた晋作は、松下村塾に入門。努力家の晋作はめきめきと力をつけ、奇兵隊を組織し、明治維新に大きな功績を果たすが、27歳という若さで病に倒れてしまう。龍馬と晋作は、ともに世界を見据えた同志。寺田屋事件で龍馬と慎蔵の命を救ったピストルは晋作の贈り物だったという記録からも、命運を契った深い間柄であることがうかがえる。

さて、歴女から「晋さまあ〜」と騒がれる幕末のアイドル晋作の地元での人気は、龍馬以上。最近では、2010年FIFAサッカーワールドカップで大活躍した本田圭佑選手と晋作が瓜分たつという説がツイッターで喧かれるなど、



晋作餅を食べる筆者（右）